2023年10月22日礼拝説教要約

ローマ人への手紙に聴く⑳

「信仰者の行き着くところ」

（ローマ8・31～39）

一、神の本性（ほんせい）

31節前半に〈では、これらのことについて、どのように言えるでしょうか。〉とあります。パウロが語った〈これらのこと〉とは、何なのでしょうか。それは、3章23節、24節の〈すべての人は罪を犯して、神の栄光を受けることができず、神の恵みにより、キリスト・イエスによる贖いを通して、価なしに義と認められるからです。〉を中心とする福音のことばです。

31節後半をご覧ください。〈神が私たちの味方であるなら、だれが私たちに敵対できるでしょう。〉とあります。なぜ〈神が私たちの味方である〉と知るのでしょうか。私共を罪の状態から救うために、神が御子イエス・キリストを遣わし、人の罪を贖うことを計画し、実行されたからです。32節に、〈私たちすべてのために、ご自分の御子さえも惜しむことなく死に渡された神が、どうして、御子とともにすべてのものを、私たちに恵んでくださらないことがあるでしょうか。〉と語られていますが、これこそ天地万物を造られ、人を創造された神の本性です。

二、引き離すものは無い

人生には、「神がおられるなら、どうしてこんなことが起きるのか」と思い、嫌になってしまうことがあります。場合によっては、神さまを憎みたくなってしまうこともあります。それは神を信じる人も、信じない人も同じです。私は、神を信じている人のほうが、「神さま！どうしてなのですか！」と訴える気持ちが強いと思います。なぜなら神を信じているからです。信頼したいと願っているからです。

33節に〈だれが、神に選ばれた者たちを訴えるのですか。〉とあります。神に選ばれた者たちを訴えるのはだれでしょうか。一つは、神のことばです。「義人はいない。一人もいない。悟る者はいない。神を求める者はいない。すべての者が離れて行き、だれもかれも無用の者となった。善を行う者はいない。だれ一人いない」（ローマ3・10～12）と語る、神のことばです。神のことばに責められてしまったら、どうすることもできません。ですが、神は主イエス・キリストにあって、それを超えることばを啓示されました。ゆえに、33節後半で〈神が義と認めてくださるのです。〉と語られています。

続く34節は、33節の内容を、さらに膨らませたことばです。〈死んでくださった方、いや、よみがえられた方であるキリスト・イエスが、神の右の座に着き、しかも私たちのために、とりなしていてくださるのです。〉と。まさしく福音のことば、神のことばです。

続く35節も、私共にとって現実的なことが語られています。〈だれが、私たちをキリストの愛から引き離すのですか。〉と。キリストを信じる者を、神への信仰・信頼から引き離そうとするものはたくさんあります。後半に〈苦難ですか、苦悩ですか、迫害ですか、飢えですか、裸ですか、危険ですか、剣ですか。〉とあります。信仰を持つことによる飢えや裸、危険、剣は、私共の身近なところでは非常に少ないと思います。幸いなことです。ですが、キリストを信じていても、病気になったり、しかも難病になったり、事故に巻き込まれたり、事件に巻き込まれたり、家族の中に自死をする者があらわれたりします。言ってみれば、信仰が揺るがされることが起きます。ですから、キリストの愛から引き離そうとするものは、あるのです。

三、圧倒的な勝利者とされる

33節より36節に、私共は、私共を苦しめる様々な環境の中に置かれていると語られています。そうしますと、神が全能なるお方であるなら、なぜこういう状況に発展する世界を造られたのだろうかと考えることでありましょう。もちろん原因は、神にあるのではなく、人の罪にあります。人が持っていた本来の神の形が歪んでしまったために、様々な問題が起きているというのが、おおよそキリスト教会の受け止め方です。ならば神は、人が罪を犯さないように創造することはできなかったのだろうか、と考えます。もちろん、できたと思います。ですが、そのようには造られませんでした。神が人（アダム）を、罪を犯さないように造られたとしたら、その時点で、人（アダム）は、神のかたちに似せては造られなかったことになります。神は、人（アダム）が自分の意思で神を慕い求め、神の御意思に従うことを願っていらっしゃると、私は考えます。ですが、神が遣わされた御子イエス・キリストによる贖いのわざがなければできないことを、私共は教えられ、心底信じ、納得しています。

そう信じている私共に対して、神はパウロを通して語っています。37節です。〈しかし、これらすべてにおいても、私たちを愛してくださった方によって、私たちは圧倒的な勝利者です。〉と。何に対して、圧倒的な勝利者なのでしょうか。私たちをキリストの愛から引き離すものに対してです。

鍵は、主イエス・キリストを信じることです。キリストを信じるなら、御霊の働きにより、罪の姿から、神のかたちに似せて造られた人（アダム）の姿に回復されて行きます。